

信号変換基板 取扱説明書

接点 RS232C (ステータスランプ対応)
ソニー VPL-PX40用

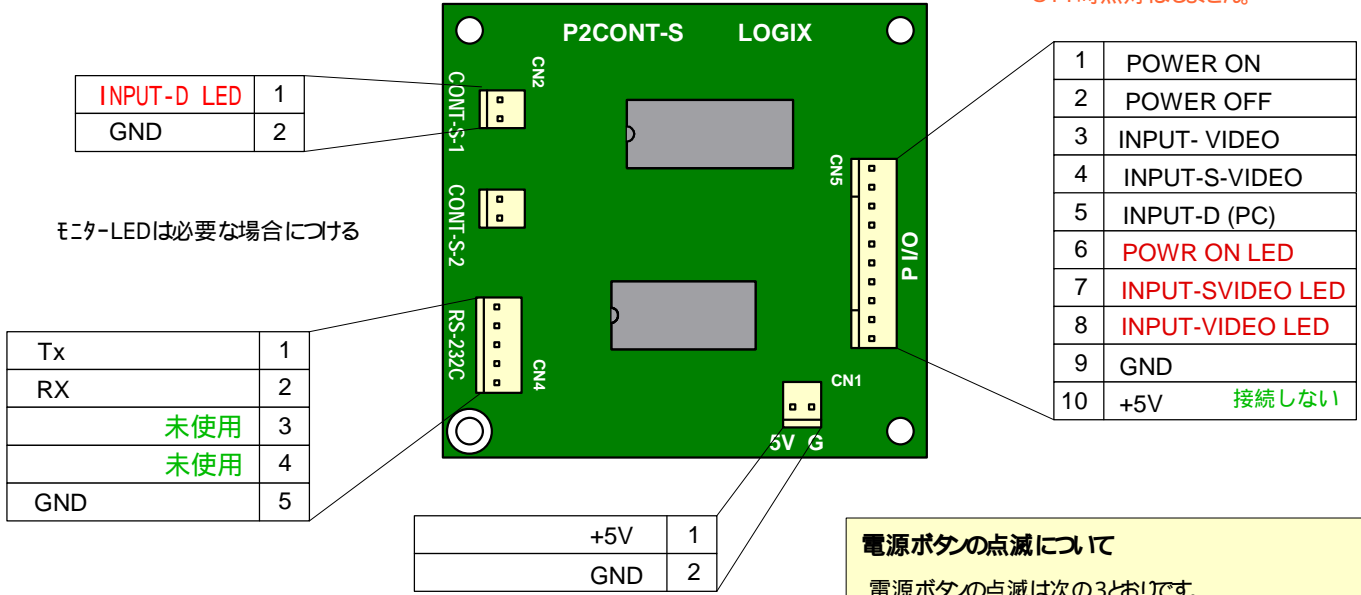
(有)ロジックス

857-0055
長崎県佐世保市湊町2-15 E-mail : logix@lgx.co.jp
電話 : 0956-25-3963 WebPage : www.lgx.co.jp
FAX : 0956-25-3964

この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、その機能を実現しています。
入出力の様子は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。
注意点として、接点入力の信号線の長さは1M以内(できるだけ短く)、RS-232C信号は15M以内で使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。

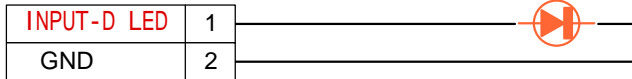
LED出力電流は基板上で約15ミリアンペアになるように制限しています。

* OFFボタンのLEDは制御対象外です。
OFF時点灯はしません。



CN1 : 電源入力 安定化されたDC 5Vを入力します
(消費電力 : 50mA以下)

CN2 : INPUT-D LED出力

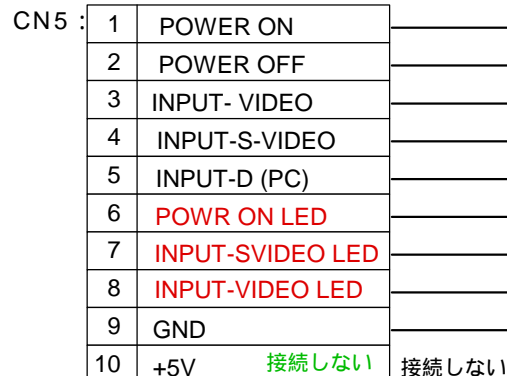


CN4 : RS-232C入力

Tx	1
Rx	2
接続しない	3
接続しない	4
GND	5

VPL-PX40 RS-232Cコネクタ

2	Rx
3	Tx
5	GND
4	DSR
6	DTR
7	RTS
8	CTS



これらの端子をGNDに接続すると、該当するコマンドが出力されます。
この信号はグラウンドにショートした瞬間、出力されます。同時に複数選択することは禁止です。

。